

盆踊りで地域の絆を!

8月14日に小田小学校体育館に於いて、毎年恒例の小田地区供養盆踊りが行われました。

午後7時30分から満徳寺住職により初盆供養が行なわれ、小田地区民や里帰りの方・子供たちも大勢集まり、唄・太鼓の音に合わせて供養盆踊りに参加いただきました。

今年も、玖珠地区盆踊り保存会の方に口説き・太鼓叩き・踊りの指導にご協力をいただき、盛大な盆踊りとなりました。

抽選会では亀の井酒造より団扇のご寄付と今年も多くの方々のご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。

今後も、盆踊りをはじめ地域の絆をつなぐために活動していきたいと思えます。



《学校支援事業》

小田小学校

では

種まき・育苗、そして田植えと地域の長野博之さんの指導で取り組み、観察も続けています。また、蛭名人の後藤法文さんの「小田の蛭の今昔」について興味深いお話も聞けました。質問コーナーでは、手がいっぱい挙がりました。校庭に実った梅をちぎり、塩漬けにし、土用干しをした後、シソをしつかりもんで、梅とシソを交互に漬け込み、最後に梅酢を投入!ほんのりピンク色に染まってくのには感動でした。この梅干しは給食時に、おにぎり実習の時に、そして運動会の練習時の熱中症対策に活用されます。親身になって指導して下さる古川弥生さんはいつも自家製漬物持参です。祖父母学級では、工作教室や昔の遊び体験で楽しみ

ました。手芸を楽しんでおられる魚返史子さんが丁寧なペットボトル手芸や折り紙を教えてくださいました。



塚脇小学校

では

登下校の見守り隊の結団式と対面式をし、子どもたちが安心して登下校できるように、一斉下校も実施しました。プール監視のサポートもより多くの目で見守りたいという学校の方針で保護者・地域の方たちで取り組みました。



一学期 コミュニティスクールの取り組み

また、毎年麻生長三郎さんの手厚い御指導を受け、種まき・育苗・田植えと順調に終え、あとは収穫を待つのみです。また、地域の行事を知ろうという事で、塚脇祇園の歴史を学習後、あの『チキリン・チキリン・チキリンコンコン♪』の囃子(はやし)の実演を体験しました。3年生はファミリー学級で地蔵講の見立て細工を作り、本番に展示するために、地蔵講の歴史を実行委員会の方たちに来校して頂き、説明も受けました。

玖珠中学校

は

来年の3月で閉校し、「くす星翔中学校」へと移行します。そんな中でも最後まで力を抜かずと粛々とやることをやろうと、地域支援の集大成をしているところと先ずは恒例の緑のカーテン(ゴウヤ仕様!)を仕立て、副産物の立派なゴウヤが出来ています。時々自治会館にもお借りしますが、口

に入ったでしょうか? また、地域力支援事業の先駆けとなった盆踊りは、今年もというより今年には例年以上に大きな声の合いの手も入り、大成功でした。



また、玖珠美山高校より先生と生徒に来ていただき、出前授業『芋植え』が出来ました。生徒はとても落ち着いていてと担当高校教諭に褒めていただいたのが、印象的でした。3年生を対象に職業人講話も実施できました。ゲストティーチャーの松山さん、小野さん、江藤さん、茂登さんに、暑い中、熱い玖珠愛を語っていただき、こんな体験を聞けた生徒は幸せだと痛感したところです。

玖珠中学校区

協育コーディネーター

岩尾純子